

図書館だより 2号

令和7年10月 発行



過去にないほどの猛暑の日々から、ようやく秋を感じられるようになってきました。読書の秋です。

図書室は模様替えをして、みなさんがより本を手に取りやすいように整理されています。より多くの本と触れ合い、自分磨きとなる本を見つけてみませんか？



今回の図書館だより2号では、1号に引き続き新任の先生や事務職員の方からのお薦めの本を紹介していきます。

宮岡稔事務長おすすめの本



【書名】クロエとオオエ

【著者名】有川ひろ

【本に関するコメント】

勉強、部活に忙しいみなさんに、ホッと一息ついてもらいたく、高知県出身で私と同年代の著者のラブコメをお薦めします。

金と女に不自由したことの無い人生を送ってきた宝石商の嫡男、、、大江と彫金を家業とする職人の娘、、、黒江とのラブコメです。大江目線で書かれている、今まで付き合ったことの無いタイプの女性とのやりとりが楽しいです。宝石の種類やカットの仕方等も書かれているので、興味がある人は読んでみてください。

渡邊祐爾先生おすすめの本



【書名】「なぜ」と聞かない質問術

【著者名】中田 豊一

【本に関するコメント】 よくない質問が「会話のねじれ」を生み出す

と筆者は言う。そう言われると、家でも学校でもそんな質問をしている自分に、はたと気がつく。『どうして？』『なぜ？』と聞かずに、『何』『いつ』『誰か』など、事実を明らかにするような質問がいいそうだ。『どうして』『なぜ』という問い詰め型の質問は、相手に本当のことを言わせず、都合のいいような言い訳をさせてしまうからだ。そのほか、普段の会話に役立つ内容が紹介されており、とても示唆に富んでいる。アジアやアフリカの農村開発に長年携わってきた筆者は、現地の人たちとの対話のなかから、よい質問の仕方を身につけたという。ぜひ読んでみてください。

室津優希先生おすすめの本



【書名】星やどりの声

【著者名】朝井リョウ

【本に関するコメント】 高校生の頃から朝井リョウさんの作品が好きで、この本はタイトルが素敵だなと思い、高校2年生の夏に読みまし

た。三男三女とその母で暮らしており、父は亡くなっているという家族の物語です。家族の各々の視点から捉えられていて、当たり前のように一緒に過ごしている家族の有難さや家族というものの特別感を感じ、当時の私は言葉で言い表せないような複雑な気持ちになりました。読書が得意でない人でも読みやすいと思うので、ぜひ高校生の今、読んでみてください。

高橋大地先生おすすめの本



【書名】それしかないわけないでしょう

【著者名】ヨシタケ シンスケ

【本に関するコメント】

これから先のことを考えると不安ですか。

明日何が起こるかなんて誰も分かりません。考え方ひとつで楽しい未来が見えてきます。この絵本を読んで、前向きに楽しく生きていこう。